

# 文化の力で世界に貢献する京都の実現について

【担当省庁】内閣官房、内閣府、文部科学省、経済産業省

大阪・関西万博の機を捉え、京都から文化創造・発信を行うとともに、多彩な交流を図ることで、国内外から高い評価を受ける「文化の都・京都」の実現に向けて、以下の措置を講じていただきたい。

- 京都の文化財の活用を促進し、広く日本の文化の魅力を発信するとともに、文化財の継承につなげるため、社寺等の文化財における音楽公演等の文化イベントの実施に向けた防音や冷暖房設備等の整備への財政支援、ユニークベニューとして活用した文化庁主催の会議等の継続的な開催、文化の国際交流の舞台となる会議等の京都誘致の推進等、文化財を活用する取組への十分な支援
- 日本文化の振興や観光や産業等による日本経済の成長につなげるため、海外における日本文化の精神性への理解を深め日本文化に親しむ外国人の拡大を図る茶室や能舞台等を備えた海外発信拠点の設置
- メディア文化（アニメ、映画、ゲーム等）のコンテンツが揃う京都の特色を生かして新産業創出を目指す「太秦メディアパーク構想」実現の一翼を担い、高い経済波及効果が期待される東映太秦映画村の再開発事業に対して、「中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化などの大規模成長投資補助金」での採択
- 日本の文化である音楽に関わる音源、映像、レコードジャケットや宣伝素材等の貴重な文化資産のアーカイブ化を推進するとともに、日本の音楽を未来へ継承し、次世代育成等に繋げ世界に向け発信する拠点の京都での創設
- マンガ・アニメのアーカイブ研究施設の整備を産学公で計画しており、散逸・劣化の危険性の高い作品等の保存・活用を促進する「メディア芸術連携基盤等整備推進事業」の十分な予算の確保
- 京都から世界へ音楽文化を発信する機運を高めるため、「日本版グラミー賞」の創設・京都での授賞式開催にあわせ、府としても、世界中から音楽家が集まり、交流し、新しい音楽を創造・発信する「Music Fusion in Kyoto 音楽祭 2025(仮)」開催を予定しており、十分な支援制度の創設に加え、国が海外留学を支援した音楽家の公演会の開催など相乗効果を生むような連携した取組の実施

## 京都府・京都市共同提案

- 京都ならではの新たな夜の魅力や価値の創出・発信（ナイトカルチャー）を一層推進するための支援
- 文化財の保存修理・整備や防災施設整備、維持管理等に要する費用負担が困難な状況において、都道府県・市町村・文化財所有者等が実施する文化財の保存・活用の取組に対する支援の充実

京 都 府 の担当課	文化生活部	文化政策室(075-414-5166)
	文化芸術課	(075-414-4216)
	商工労働観光部	産業振興課(075-414-4852)
	教育委員会	文化財保護課(075-414-5896)

【国の事業等】

- ▶ **メディア芸術の創造・発信プラン〔文化庁〕 9.17 億円**  
メディア芸術クリエイター育成支援及びメディア芸術の国際発信等
- ▶ **メディア芸術連携基盤等整備推進事業〔文化庁〕 0.8 億円**  
メディア芸術作品・資料の保存・活用に向けた所蔵館等におけるアーカイブの取組を支援し、散逸・劣化の可能性が高い作品等の保存・活用を促進
- ▶ **文化芸術創造拠点形成事業〔文化庁〕 13.41 億円**  
文化芸術分野の専門的人材を活用した、地域アーティストの活動支援、地域の文化芸術資源を活用した文化芸術活動の実施等の総合的な取組を支援
- ▶ **国際文化交流・協力推進事業〔文化庁〕 0.67 億円**  
トップレベルの文化芸術発信事業や国際文化交流事業を実施
- ▶ **博物館機能強化推進事業（Innovate MUSEUM 事業）〔文化庁〕 3.02 億円**  
これからの博物館が新たに求められる社会的・地域的な課題への対応に先進的に取組む事業を支援

〔経済産業省〕

- **中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化などの大規模成長投資補助金 1,000 億円**
  - ▶ 中堅・中小企業が、持続的な賃上げを目的に、足元の人手不足に対応するための省力化等による労働生産性の抜本的な向上と事業規模の拡大を図るために行う工場等の拠点新設や大規模な設備投資を支援
- **地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備**
  - ▶ ディープテック・スタートアップの事業成長に資する、民間企業等が運営するインキュベーション施設に対して、研究開発等に必要な設備の整備等を支援
- **令和6年度の文化財関係補助金のうち、減額率の大きい項目**
  - ▶ 記念物－33%、埋蔵文化財－40%、美術工芸品－28%

【京都府の取組】

- **太秦メディアパーク共創拡大事業 8 百万円**
  - ▶ 太秦エリアにおいて、新たな産業創造拠点として情報関連産業に特化した都市型のリサーチパーク形成を目指す。令和6年度には、コンテンツ産業の経営革新や海外展開を支援するためのスタートアップピッチ会「太秦 NINJA PITCH」を開催予定
- **クロスメディアパーク整備事業 67.7 百万円**
  - ▶ 映像を核としたクロスメディア産業の育成と府内への波及を図るため、拠点の整備、人材育成、国際ネットワークの形成等、府内に波及効果をもたらす事業を総合的に展開する。
  - ▶ 東映太秦映画村の再開発事業は、ナイトタイムエコノミーへの取り組みをはじめ、持続的な賃上げや労働生産性の向上を目的とした事業規模の拡大等を行うために行う大規模な設備投資を伴うもの（第1期工事費：約60億円）。